



2006年12月1日  
 発行 相原まちづくり協議会  
 責任者 理事長 杉崎大吉  
 所在地 町田市相原町 1241  
 電話 042 (774) 8705

## 相原駅周辺街づくり及び都道整備検討会が発足

### (1)西口区画整理断念と第三次町田街道事業化計画決定の経緯

平成17年度は、東京都の都市計画道路の第2次事業化計画の最終年度となりましたが、第2次事業化計画に含まれていた町田街道坂下交差点から仲町の中央橋迄の都道拡幅が事業化されないまま、第2次事業化計画の期限が過ぎようとしていました。

また一方、中央橋から八千代銀行相原支店までの町田街道は町田市が区画整理施行と共に町田街道の整備拡幅することになっていましたが平成17年秋になっても、いずれの町田街道の拡幅整備及び大戸踏切の立体化は事業化しませんでした。

そこで、次の都市計画道路の第3次事業化計画に相原地区の町田街道を含める為、相原地元住民や吉原修都議会議員や小磯善彦都議会議員が積極的に東京都に働きかけ始めました。

また、町田市施行となっていた中央橋から八千代銀行相原支店までの都道拡幅整備について、町田市では区画整理事業に手つかずの状態、町田街道整備拡幅は、東京都に施行してもらいたいと考えていました。

一方、吉原修都議会議員と相原地区連合町会、

### (2)検討会発足と座長に石井悟相原連合町会々長が就任

前述の経過後、相原地区連合町会及び相原まちづくり協議会と町田市で検討会設置の準備をして参りました結果、平成18年10月27日 第1回の上記検討会が開催されました。

この検討会メンバーは、東京都が3人、町田市15人、地元委員11名で構成されることになりました。

当日は出席者の紹介、規約、役員選出、検討会の今後の進め方について審議し、検討会座長には、石井悟相原地区連合町会々長が選出されました。

この会は「多摩地域における都市計画道路の整備方針」の第三次事業化計画の中で、町田3・3・

相原まちづくり協議会の十数名で、平成17年12月に都庁に出向き、横山洋吉副知事、都整備局依田技監、都建設局 岩永局長に第3次事業計画に町田街道、相原坂下から八千代銀行相原支店までを決定して頂くよう陳情しました。

その結果、東京都は、次の三条件を町田市が受諾すれば、東京都が相原坂下から八千代銀行町田街道及び大戸踏切の立体化を都施行で第3次事業計画に入れるとの事になりました。

- 1・町田市は相原駅西口の区画整理事業を断念する。
- 2・町田市は東京都に協力し、地元との調整を計る。
- 3・都道整備拡幅の為、都及び町田市並びに地元の3者間の検討協議会を設置する。

そして、町田市 寺田市長が平成18年3月7日東京都整備局宛に、の区画整理を断念する旨等の通知書を提出した結果、相原坂下から八千代銀行相原支店までの都道拡幅及び大戸踏切の立体化は東京都が施行することで、都市計画道路の第3次事業化計画が決定し、平成18年4月に東京都から発表されました。

36号線(町田街道)が、今後10年間で都施行により優先的に整備すべき路線として選定されたことに伴い、地元住民、町田市、東京都の三者の協力で相原駅周辺の街づくりの方策と大戸踏切の立体化を含めた道路整備を考え、相原駅周辺の良好な地域環境を実現することを目的としております。

今後、勉強会から始め、順次、都道整備及び相原駅周辺街づくりの意見集約を進めて行きます。御支援宜しくお願い申し上げます。

-----2面につづく-----

## 相原駅周辺街づくり及び都道整備検討会メンバー

### 地元委員名簿

相原地区連合町内会長	石井 悟(丸山)
相原まちづくり協議会理事長	杉崎 太吉(坂下)
協議会副理事長	土田 恭義(元橋)
仲町町会長	川端 登(仲町)
陽田町会長	細田 一郎(陽田)
中村町会長	横溝 廣喜(中村)
青少年健全育成相原地区委員長	井上 春雄(陽田)
坂下地区(地権者)	平井 明(坂下)
仲町地区(地権者)	諏訪 賢一(仲町)
仲町、中村地区(地権者)	青木 一世(仲町)
相原西口商店会長	中島 孝幸(中村)

### 東京都委員名簿

都市整備局	都市基盤部街路計画課 多摩街路計画係長	腰塚 信一郎
建設局	道路建設部計画課課長補佐 多摩計画担当係長	小池 進
	道路建設部計画課企画係 多摩計画担当	内野 康寛

### 町田市委員名簿

助役		町田 修二
建設部	部長	鷺北 秀樹
都市計画部	部長	畑 久男
	区画整理担当部長	荒井 昭治
	参事	中野 守也
建設部	建設総務課主幹	宗田 隆由
	建設総務課計画係長	浅沼 利行
	道路整備課長	柴田 英司
	道路整備課主幹	藤谷 法男
都市計画部	区画整理課長	吉原 克
	区画整理課計画調整係主査	山下 勝行
	都市計画課計画係長	野田 好章
	都市計画課街づくり担当主幹	水永 春江(事務局)
	都市計画課街づくり推進係長	塩尻 亨(事務局)
	都市計画課街づくり推進係主任	田中 利和(事務局)

## 相原町の子供会、幼稚園、保育園を対象にしたアンケート結果

相原まちづくり協議会は7月に小児科医療施設アンケート調査を行いました。その結果子供が病気で『困ったことがある』という意見が多くありました。緊急医療対応の町田市民病院は市の中心地にあるため、相原町にもなんらかの子供向け医療施設が必要

園児や子どもが病気や怪我で夜間に困ったことがありますか。

	園児	子供会	計
ある	71.2%	76.8%	74.3%
ない	28.8%	23.2%	23.7%

園児や子どもが病気やけがで救急車を呼んだことがありますか。

	園児	子供会	計
ある	19.2%	39.0%	30.0%
ない	80.8%	61.0%	70.0%

夜間や休日に小児救急外来を利用したことがありますか。

	園児	子供会	計
ある	80.7%	65.8%	72.5%
ない	19.3%	34.2%	27.5%

病気やけがでネット医療センターを利用したことがありますか。

	園児	子供会	計
ある	8.4%	7.4%	7.8%
ない	91.6%	92.6%	92.2%

要との要望が強く今後のまちづくり協議会で取り上げていきます。

同調査は子ども会・保育園・幼稚園など836名を対象に行ったもので、回収率は64.5%でした。主な集計内容とコメントは以下の通です。

園児や子どもが病気やけがをした時、主にどの地域の病院に行きますか。

	園児	子供会	計
相原町	14.7%	18.8%	17.0%
相原以外の町田市	12.1%	11.3%	11.6%
相模原市	18.5%	26.3%	23.0%
八王子市	47.1%	38.4%	42.1%
城山町	5.9%	3.3%	4.4%
その他	1.7%	1.9%	1.9%

小児科(内科)行き付けの病院を知った経緯について伺います。

	園児	子供会	計
近いから	48.0%	40.7%	44.1%
紹介	10.6%	10.4%	10.5%
親の代から	1.4%	3.5%	2.5%
園・PTAの情報から	2.2%	0.6%	1.4%
知人	24.2%	31.9%	28.3%
インターネット	2.2%	1.9%	2.0%
電話帳	2.6%	3.2%	2.9%
その他	8.8%	7.8%	8.3%

園児や子どもが病気になったとき仕事を休むことが出来ますか。

	園児	子供会	計
休める	34,8%	34,6%	34,6%
休みにくい	39,0%	42,9%	41,0%
休めない	13,1%	7,8%	10,4%
分からない	13,1%	14,7%	14,0%

園児や子どもの病気を理由に仕事を休んだり、早退したりすることに職場の理解、協力は得られますか。

	園児	子供会	計
得られる	48,0%	49,3%	48,7%
得られない	9,9%	4,9%	7,3%
自分から休めない	20,8%	23,3%	22,1%
休めない	3,0%	2,7%	2,8%

分からない	18,3%	19,8%	19,1%
-------	-------	-------	-------

自分から休めない、得られない、休めないが32,2%。厚労省の調査では32,8%でありほぼ同じ数値であった。

園児の保護者に伺います。平成17年4月に施工された改正育児・介護休業法により企業など事業所は小学校就学前の子どもを持つ親に対し年間5日までは、介護のための休暇を認めることが義務づけられている制度があります。

利用している	9件	3,7%
知っている	47件	19,6%
初めて知った	184件	76,7%

### 園児、子供会医療についてコメント要約

- ・夜間、休日小児診療を受ける健康福祉会館内にある町田市医師会準夜急患こどもクリニックと救急医療対応の町田市民病院は市の中心地に在り、相原町から遠く、行くのに大変である。 **37件**
- ・近くに夜間、休日の救急外来を受け付ける内科系医療機関を作って欲しい。 **14件**
- ・夜間、休日の救急医療を乳児、子どもについて八王子市や相模原市と提携して受け入れる体制をとって貰いたい。 **14件**
- ・夜間救急当番医は相原町から遠く、行くのに不便である。 **5件**

- ・近隣周辺に総合クリニックセンターが欲しい。 **26件**

- ・乳児定期健診についての意見。 **7件**
- ・病後保育、病中、病後対策についての意見。 **8件**
- ・乳児医療証についての意見。 **4件**
- ・その他（小児科、内科、外科、耳鼻咽喉科、整形外科、歯科等）の意見 **37件**

子どもセンターに対する関心が高いようで意見、要望が58件ありました。重複するコメントを除いて39件を子どもセンター建設委員会へ別紙にて提出しました。

### 相原まちづくり協議会と相原地区連合町内会は10月12日町田街道の横浜線大戸踏み切りの立体化問題について、吉原修都議の案内で東京都に要請しました。

「横浜線大戸踏み切りの立体化」問題は18年度から27年度の「都市計画整備方針」に採択されました。同事業を早期に着手するよう働きかけました。杉崎まちづくり協議会理事長、石井相原地区連合町内会長らは都庁で依田建設局長、柿境都市整備局長にそれぞれ面会し、大戸踏み切りの交通渋滞の実態を強く訴えました。両局長とも「実態をよく調べ対処したい」との回答がありました。



### 相原連合町内会ソフトボール大会がありました

11月12日(日)武蔵岡中学校と大戸小学校のグラウンドで11町会約160名が参加し快晴のなか1日楽しくソフトボールをとおして親睦を深めました。結果は、優勝--元橋 準優勝-武蔵岡 3位-中村でした。



## まちづくり講演会を開催

相原まちづくり協議会は第9回まちづくり講演会が11月5日に堺市民センターで行いました。テーマは「里山を活かした美しいまちづくり」です。



講師は佐藤賢一氏です。佐藤氏は多摩美術大学講師、トデック技術長、なりわい文化都市研究室代表で、街づくりの専門家です。

佐藤氏の講演内容は以下の通りです。

相原町は骨格になる道路の整備が進んでいますが、道路が完成しても油断ができません。合法的な位置指定道路でも、行き止まり道路で、火事になった場合、逃げ場を失うことがあってはなりません。未接道住宅、無秩序な街並み、ブロック塀の連続などがあれば、地震などの時、大災害の引き金になってしまいます。

建物の屋根、壁の色なども華美のものが出てきて調和がとれないケースもあれば心配です。相原町は里山、緑など多く残っていますが、開発が進むと、失われる恐れがあります。

相原町は手入れのよいいけ垣、駅前丸いケヤキの大木、里山、遠くに見える山並み、洒落た駅舎、境川、石の蔵などの歴史的資源があります。境川の自然景観は街づくりにとっても大切です。私は相原駅を降りたときに米国ニューヨークのフォレストヒルズを思い出しました。フォレストヒルズも相原と同じように緑と歴史のただまゝあり、人間的な街です。ニューヨーク市の中心部から電車で40分くらい入ったところ。所得の高い人が住み、1911年に建設されました。田園都市として開発し、駅前広場からゲートをくぐると緑豊かな高質の住宅に入っていくようになっています。駅前広場を囲む建物は統一感があります。

相原町の街づくりをどうしていくのかです。お役所が決めるのではなく、どういう街づくりがよいか、住民が考えて、地域の人から自らの手で作って

## 「住民が主体的に発想を」

いくべきです。どこでも、みんなが合意することは、なかなか難しい問題があります。このため、最初に、「やわらかい約束事」（街づくり協定・ガイドライン）を決めることです。住民が自らルールを作るのですから、それが弊害で問題がおきることはありません。空き店舗に店を入れるとか、高齢者の憩いの場を提供するとか、場合によって街角に公園を作るとか、みんなで選べる手法があります。これを発展させ「街並み誘導型地区計画」の適用に持ち込むのも一つです。まちづくり3法の改正が8月に行われましたが、それによる法的協議会を設置すれば、協議会に対して助成があります。協議会が文化施設や高齢化施設などを作ることできます。これまでは行政によるトップダウン方式が多かったですが、これからは住民の発意がないと出来ません。「こういうものを作りたい」と住民から働きかけないと進展しない制度に変わっています。みなさんで駅前をどうしたらよいか、真剣に考える時です。国の制度を活用すべきです。

相原駅前のイメージとして「相原に絶対住みたい」と女子学生に云ってもらえる



まちづくりが理想です。学生が活動できる施設も期待されます。そのためには、高級感のあるスーパー、専門店、書店、学生でにぎわうレストラン・喫茶店などが集まる商店街が必要です。住民たちが作った野菜、アイスクリーム、竹炭を売る「まちの駅」などのシティ・センターなども検討すべきでしょう。

高齢者が空き店舗でビジネスを出来るようにするとか、屋敷林を残しながら息子たちが返ってきて一緒に住める、ゆったりした住宅づくりが必要です。